

## 口蹄疫を対象とした輸入検疫措置に関する研究

## 1 中核機関・研究総括者

(独) 農業・生物系特定産業技術研究機構  
動物衛生研究所 坂本 研一

## 2 研究期間

2005～2007 年度 (3 年間)

## 3 研究目的

口蹄疫に関しては、近年、国際機関においてワクチン接種清浄国・地域が認められるようになり、これを基に、我が国へも当該国・地域からの新鮮肉等の輸入解禁の申請がある。しかしながら、これらの認定地域でも口蹄疫の発生があるという実情、更に口蹄疫の発生は畜産業に甚大な被害を与えることから、その検疫措置施策には十分な資料が必要となる。このため、今後の解禁要請への対応やSPS協定等、国際協定に基づく諸外国からの要求への対応のため、口蹄疫ワクチン接種国の清浄性や地域主義問題に関する十分な科学的知見・情報が必要である。

このため、ワクチン接種動物と感染動物との鑑別手法の調査・分析、ワクチン抗体の経時的動態調査、動物・畜産物の輸入によるリスク要因の解明等のための調査・分析を行う。

## 4 研究内容及び実施体制

## ① ワクチン接種動物と感染動物との鑑別手法の調査・分析 ((独) 動物衛生研究所)

口蹄疫の豚におけるワクチン抗体と感染抗体の識別を可能とする手法の開発を試みる。

## ② ワクチン抗体の経時的動態調査 ((独) 動物衛生研究所, 日本大学)

牛などの動物を用いて口蹄疫ワクチンを接種し、ワクチン抗体の体内での経時的動態を調査検討する。

## ③ 動物・畜産物の輸入による口蹄疫に関するリスクの評価 ((独) 動物衛生研究所)

各国における口蹄疫の流行の様相や防疫措置を現地視察、文献、資料等によって調査分析し、ワクチン接種、ゾーニング、摘発淘汰措置などの効果及び問題点を明らかにする。また、多種多様の動物・畜産物が持つ特性を口蹄疫の伝播リスクの観点から分析し、これらの輸入に伴うリスク要因を明らかにする。

## 5 目標とする成果

ワクチン接種国からの輸入畜産物の清浄性の確認およびワクチン接種時期の推定、動物・畜産物の輸入によって生じるリスクの総合的評価等が期待され、我が国の口蹄疫に関する検疫措置施策の検討のための科学的知見・情報という判断材料を提供する。

# 口蹄疫を対象とした輸入検疫措置に関する研究

## 口蹄疫を取り巻く輸出入の現状は？

- ・ 口蹄疫ワクチン接種清浄国・地域が国際機関で認められた
- ・ 我が国へも当該国・地域からの新鮮肉等の輸入解禁の申請

### 一方で

- ・ 口蹄疫の発生は畜産業に甚大な被害を与える
- ・ 認定地域でも口蹄疫の発生があるという実情

## 検疫措置施策には十分な資料が必要

- ・ 解禁要請への対応やSPS協定等、国際協定に基づく諸外国からの要求への対応
- ・ 口蹄疫ワクチン接種国の清浄性や地域主義問題に関する十分な科学的知見・情報の必要性

## 研究内容

- ・ ワクチン接種動物と感染動物との鑑別手法の調査・分析  
豚におけるワクチン抗体と感染抗体の識別を可能とする手法の検討
- ・ ワクチン抗体の経時的動態調査  
動物にワクチンを接種し、ワクチン抗体の経時的動態を調査検討
- ・ 口蹄疫に関するリスクの評価  
動物・畜産物の輸入によるリスク要因の解明等のための調査・分析



感染動物



ワクチン接種動物



各国・地域の口蹄疫の発生状況及び防疫措置の分析

これまで明らかにされていない科学的知見の収集

## 達成目標

- ・ ワクチン接種国からの輸入畜産物の清浄性の確認
- ・ 動物・畜産物の輸入によって生じるリスクの総合的評価

## 期待される波及効果

我が国の口蹄疫に関する検疫措置施策の検討のための科学的知見および情報などの判断材料を提供